

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	異文化間コミュニケーション				
担当者氏名	山本 元子				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-1 国際社会に貢献できる人材育成				

《授業の概要》

文化は人の認識、心理、身体、行動に影響を与える。そのため異文化接触時には摩擦が生じやすい。本講義は、異文化適応、異文化受容を中心に、言語・身体的コード・システム、社会規範、価値観等の違いにより生じる様々な摩擦・軋轢の事例を取り上げる。学習者中心のアクティブラーニング方式でおこなう。(授業計画は、参加学生によって若干の変更を行う場合がある。)

《授業の到達目標》

いろいろな場面で起こりうる異文化間のコミュニケーション例をみることで疑似体験をし、異文化コミュニケーション能力の中心である非偏見的、非自民族中心的態度育成の理解を深める。

《成績評価の方法》

授業への参加姿勢、プレゼンテーションや相互評価、ならびに提出物の内容、期末レポートの得点により総合的に評価する。
 平常点(授業への参加姿勢) 40%
 提出物(期末レポート含) 30%
 プレゼンテーション(相互評価含) 30%

《テキスト》

再勉強のポイント：和田勝明(明治図書)
 書店で準備できない場合は担当者から販売する。

《参考図書》

適宜、参考資料を配布する。

《授業時間外学習》

レポート作成やPPなどのプレゼンテーション用資料作成ならびに文献検索等

《備考(教員経験の有無)》

- ・シラバスは受講者と協議のうえ変更を加えることがある。
- ・文部科学省 業績審査 単独指導可

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	イントロダクション	異文化間のコミュニケーション一般について概観する。 評価の仕方など 文化とは? 異文化とは? コミュニケーションとは?
2	考察1	文化が影響する諸事 思考方法、行動様式など人の基底部分を規定する「文化」について
3	ディスカッション1	文化が影響する諸事について
4	発表1	受講者による発表 課題：文化が影響する諸事
5	考察2	服装への宗教の影響 例：スカーフで髪をおおうことについて
6	ディスカッション2	服装への宗教の影響
7	発表2	受講者による発表 課題：服装への宗教の影響
8	前半のまとめ	前半のまとめとレポート提出。
9	考察3	謙遜 v s 自慢 例：他人に向かって自分の子をほめるか?
10	ディスカッション3	謙遜 v s 自慢
11	発表3	受講者による発表 課題：謙遜 v s 自慢
12	考察4	講義を通してみる「異文化間コミュニケーション」とは? 自己の意識の変化はどうか
13	ディスカッション4	「異文化間コミュニケーション」の講義を通じた自己の意識の変化は
14	発表4	受講者による発表 課題：「異文化間コミュニケーション」の講義を通じた自己の意識の変化
15	まとめと演習	講義・演習等、本講座全体のレポート作成